

平成27年1月20日

日立理科クラブ通信

No. 27



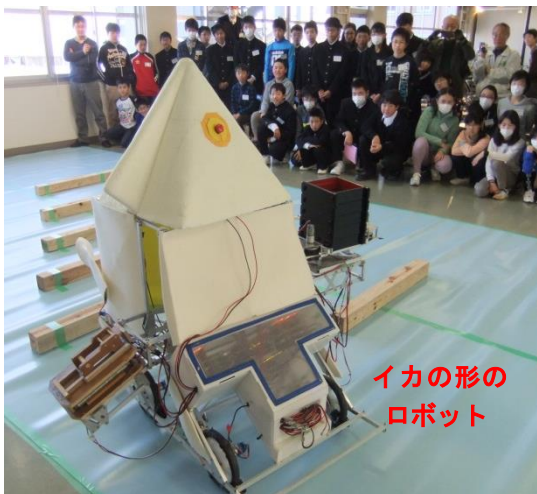
日立理科クラブ

理数アカデミー特別授業 「ロボット教室」

1月18日(日)、教育プラザで行われた理数アカデミー特別授業「ロボット教室」を紹介します。今回の特別授業は、茨城工業高等専門学校の学生を中心に、小中学生の関心の高い「ロボット」を教材として、直接触れ合える体験学習を通して、科学・技術のさらなる興味を深め、小中学生のキャリア意識を深めることを主旨として実施しました。茨城高専・ロボット部の学生が講師になって、参加した理数アカデミーの中学生32名、「科学大好き体験学習」の小中学生35名に、茨城高専・ロボット部の紹介や、高専ロボコン出場の様子な



高専ロボコン
の説明をする
学生



イカの形の
ロボット

どを熱心に話していました。その後、13名のロボット部の学生たちがデモンストレーションや操縦体験の場面で、小中学生と直接触れ合いながら楽しく活動をしていました。

ロボット部の学生たちの目標は、NHK主催の全国高専ロボコンコンテスト(高専ロボコン)に出場することだそうです。今年度は残念ながら、地区予選で敗退してしまいましたが、過去には予選を勝ち抜いて全国大会に出場するなど輝かしい成果を上げています。今年のロボコンのテーマは「出前迅速」で、障害物を乗り越えながらソバを運ぶ内容です。地区予選に出場した2体のロボットが登場し、イカの形をしたロボットとアンコウの形をしたロボットが、木材を並べた障害物を乗り越え、見事にソバを運びました。特にイカの形をしたロボットは、車輪を上手く持ち上げ、

ソバを落とすこともなく木材をスムーズに乗り越えて進んで行き、その様子を見ていた小中学生から、「すごい」という歓声と拍手が起きました。ロボットの作製には、ロボットが実際に動けるような部品を作る機械班と、ロボットを動かすための回路を作る回路班の分業で、たくさんの時間と試行錯誤を繰り返しながら完成させていくとのことでした。説明をしている学生たちから、ロボット作りにとっても愛着があり、楽しんでいる様子が伺えました。

参加している学生の中に、日立理科クラブの理数アカデミー受講生の卒業生がいました。中学校時代から科学に興味を示し、茨城高専を進学先に決めていたそうです。「将来は、ロボット工学に関する職業に就けたらいいですね。」と、夢を現実的に置き換えて話をしていました。日立市内の中学校の卒業生が複数おり、受講生にとっては年齢の近い身近な先輩の言葉に、キャリア意識を高める1つの機会になったのではないかと思います。約3時間のプログラムでしたが中身の濃い内容でした。

理数アカデミーOB



操縦体験

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104